

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月06日

計画の名称	16 通学路等の生活空間における安全・安心な道づくり												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福島市,会津若松市												
計画の目標	市街地における円滑な交通の確保に向けた街路整備と併せ、通学路等の生活空間における安全・安心な道づくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,360	A	1,360	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R7未
1	通学路交通安全プログラム要対策箇所の解消を図る 0%(R3)から100%(R7) 通学路交通安全プログラム要対策箇所の解消率を算出する。 通学路交通安全プログラム要対策箇所における解消率 = 対策完了箇所 / 要対策箇所	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	街路	一般	福島市	直接	福島市	S街路	改築	16-A1 曾根田町桜木町線 (宮下町工区)	現道拡幅 L=0.3km	福島市						344	-		
	A01-002	街路	一般	福島市	直接	福島市	S街路	改築	16-A2 杉妻町早稲町線	現道拡幅 L=0.2km	福島市						516	-		
	A01-003	街路	一般	会津若松市	直接	会津若松市	S街路	改築	16-A3 鶴ヶ城周辺地区(藤室鍛冶屋敷線)(本町工区)	現道拡幅 L=0.2km	会津若松市						500	-		
												小計						1,360		
												合計							1,360	

事前評価チェックシート

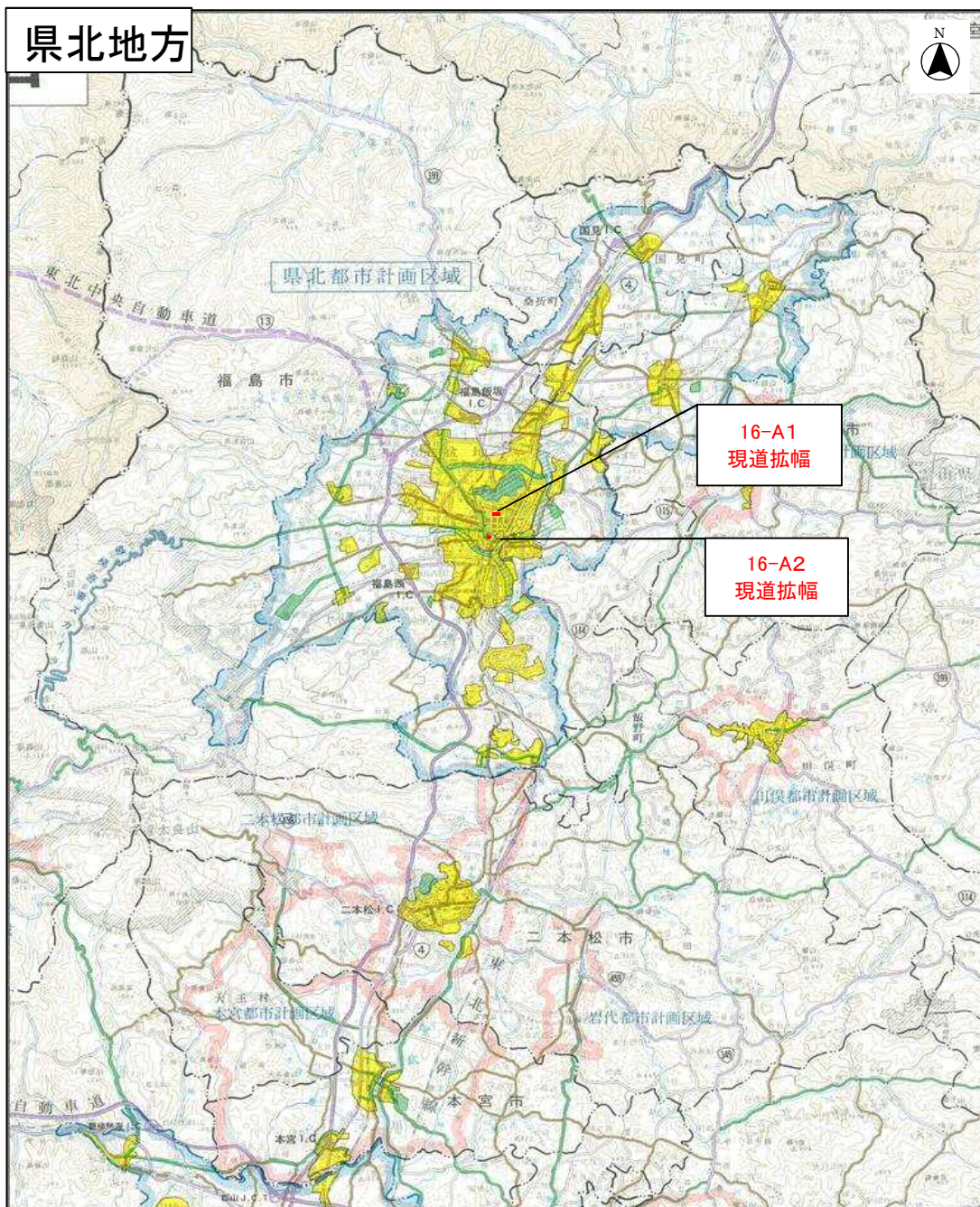
計画の名称： 16 通学路等の生活空間における安全・安心な道づくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	16 通学路等の生活空間における安全・安心な道づくり	交付対象	福島市、会津若松市
計画の期間	令和3年度～令和7年度(5年間)		

【位置図】



(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	16 通学路等の生活空間における安全・安心な道づくり	交付対象	福島市、会津若松市
計画の期間	令和3年度～令和7年度(5年間)		

【位置図】



会津地方

